

平成22年(2010年)6月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書(1日目)

平成22年6月15日(火)

※1人当たり15分間(答弁を除く)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	野原嘉孝 (公明党)	1 防災行政について	(1) 本市には生活道路が狭隘で、地震や火事等の災害時の避難誘導・消火活動に困難をきたすと推測される地域が多いが、どのような対策がなされているか (2) 自主防災組織の現状(組織数、組織率)及び市当局の取り組みと現場の活動状況を伺う
		2 保育行政について	認可保育園を卒園した子どもたちは、幼稚園に入園するまでの期間どのように過ごしているか、その実態を伺う
		3 リサイクル事業について	(1) マテリアルリサイクル施設整備事業の概要を伺う (2) 資源ごみのリサイクル率、それぞれの歳入実績、現在の取引単価を伺う
		4 高校総体について	(1) 那覇市の「美ら島 沖縄総体2010」への取り組み状況について伺う (2) 全国から来県する高校生に対してどのような支援事業があるか。また、首里城や県立博物館・美術館、那覇市歴史博物館等が無償で見学できるように調整できないか伺う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 交通行政について	<p>(1) 新都心牧志線のハローワークから安里向け左側の歩道について、一部法面から出てくる排水と悪臭で、歩行者に迷惑をかけているところがあるが、その実態と今後の対応を伺う</p> <p>(2) 信号機の設置要請について、新都心銘苅「てんとう虫公園前」、ユニオン真嘉比店から真嘉比小学校向けにおりてきた交差点の設置へ向けた進捗状況を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成22年6月15日(火)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	前田 千尋 (日本共産党)	<p>1 中心商店街の活性化について</p> <p>2 第一牧志公設市場の整備について</p> <p>3 騒音公害対策行政について</p> <p>4 女性の健康支援について</p>	<p>(1) 本市の「マチグラー」と呼ばれる中心商店街は、郊外大型店舗やスーパーの影響を受けて、空き店舗が増え、空洞化が進んでいる。その現状・課題について問う</p> <p>(2) 行政、商店街、通り会、業者、地域住民と一体となって中心商店街のにぎわいを取り戻すために、新たな「中心市街地活性化基本計画」を策定すべきである。見解を問う</p> <p>(1) 市民・県民の台所として、また、那覇らしい魅力ある観光スポットとして、第一牧志公設市場の果たしている役割と経済波及効果について問う</p> <p>(2) 中心商店街の活性化に向けて、第一牧志公設市場の今後の役割と課題について問う</p> <p>(1) 泉崎の有料駐車場による民間住宅の騒音被害に対する当局の対応と解決に向けての取り組みについて問う</p> <p>(2) 「那覇市環境基本条例」の理念に基づき、「那覇市公害防止条例」において、騒音対策を強化すべきではないか。見解を問う</p> <p>(1) 妊婦検診が14回になったの効果と意義について当局の見解を問う。今後も継続すべきであるが見解と対応を問う</p> <p>(2) 子宮頸がんワクチンの1日も早い定期接種を求めてきた。2月議会での答弁で、5月の那覇市医療協議会で医師会などとも連携、協議していくとあったが、進捗状況を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成22年6月15日(火)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	宮國 恵徳 (そうぞう)	<p>1 自動販売機について</p> <p>2 ボランティア団体について</p> <p>3 児童扶養手当について</p>	<p>本市の市有地施設（公園等も含む）に設置されている、自動販売機は幾らあり、どこが、どのように管理しているのか伺う</p> <p>本市とボランティア協定を締結している団体は幾らあり、どのような活動をしているのか伺う</p> <p>(1) 本市に在住する父子家庭及び母子家庭の世帯数について伺う</p> <p>(2) 父子家庭にも、母子家庭が対象の児童扶養手当と同様となる手当を支給する独自の案を創設する考えはないのか</p>
			<p>【答弁を求める者】 関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成22年6月15日(火)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	仲松 寛 (自民・無所属 連合)	<p>1 沖縄21世紀ビジョンについて</p> <p>2 下水道管の老朽化対策について</p> <p>3 高齢者専用賃貸住宅について</p>	<p>現在の沖縄振興計画は、平成24年3月31日に期限切れとなるため、沖縄県は新たな沖縄振興計画となる「沖縄21世紀ビジョン」を本年3月に策定した。「沖縄21世紀ビジョン」を推進し、その実現を図っていくために、県都那覇市の果たす役割は重要である。よって、次の事項について伺う</p> <p>(1) 「沖縄21世紀ビジョン」に対する評価について伺う</p> <p>(2) 平成25年4月移行予定の中核市と関連して、本市の施策を「沖縄21世紀ビジョン」にどのように反映させていくのか伺う</p> <p>下水道管は都市の衛生環境や水環境の改善に大きな役割を担っているが、古くから敷設された下水道管は老朽化が進んでおり、破損などが原因で道路陥没事故が全国で多発している。よって次の事項について伺う</p> <p>(1) 下水道管の老朽化によって発生した道路陥没事故は、本市でどれくらいあるか伺う</p> <p>(2) 本市における耐用年数を超えた下水道管の把握及び対応はどのようにしているのか伺う</p> <p>超高齢化社会を迎える我が国では、高齢者夫婦世帯や独居世帯が増加の傾向にある。このため高齢者を対象とする高齢者住宅の整備は重要な課題である。よって、次の事項について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(1) 本市における高齢者人口及び高齢者夫婦世帯、独居世帯はどれくらいあるか伺う</p> <p>(2) 高齢者住まい法の改正を受けて、本年5月19日に高齢者円滑入居賃貸住宅の登録制度が新しくなったが、どのような内容か伺う</p>
			<p>(3) 本市における高齢者専用賃貸住宅はどれくらいあるか伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成22年6月15日(火)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	永山盛廣 (自民・無所属 連合)	1 公園行政について	<p>漫湖の周景整備について</p> <p>(1) 漫湖は、都市の中のオアシスであり、モノレールから見る風景は、実に素晴らしい。ただ、色あせたクジラとカニが周景を損ねている。対策はないのか</p> <p>(2) 漫湖古波蔵側那覇大橋から、爬龍橋間のマングローブを撤去して親水性に富んだ板橋の遊歩道の設置は出来ないか</p>
		2 環境行政について	<p>漫湖に飛来する渡り鳥と学習について</p> <p>(1) 漫湖は、ラムサール条約に認証され、渡り鳥の飛来地として湿地保全がなされているが飛来の状況はどうか</p> <p>(2) 渡り鳥の観察は、どのようにしているか</p> <p>(3) 学習観察のため、漫湖公園古波蔵側に観察スポットまたは、観察館(小舎)の設置は出来ないか</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成22年6月15日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	坂井 浩二 (そうぞう)	<p>1 児童福祉行政について</p> <p>2 行政サービスについて</p>	<p>先日5月31日、沖縄市室川において、生後3カ月の男児が父親の虐待によって死亡するという痛ましい事件が発生した 「児童虐待」が、全国的にも深刻な社会問題として抜本的な対策が求められるが、本市の現状・取り組みを伺う</p> <p>(1) 本市、中央管内、県全体における、「児童虐待」に関する年間の相談件数はそれぞれ幾らか伺う また、中央管内及び県の年間相談件数と比較した場合、本市の割合(%)は幾らか伺う</p> <p>(2) 本市における児童相談窓口対応の職員総人数と、正規・非正規職員の人数はそれぞれ幾らか伺う</p> <p>(3) 密室で発生し、誰も把握できなかった今回の沖縄市室川の児童虐待殺人事件 今後のしっかりとした対応策も含め、翁長市長の感じる所及び見解を伺う</p> <p>平成24年秋に予定される新庁舎完成に伴い、銘苅庁舎内におけるほとんどの部署の移転が予定されている 昨年9月定例会においても取り上げたが、銘苅庁舎の今後の活用について本市の見解を再度伺う</p> <p>(1) 新庁舎への移転に伴い、住民票等証明書の交付を含む、「市民サービス機能」自体が無くなってしまうのではないかとの懸念が挙げられる 新都心地域を中心とした地域住民の間で、機能の継続を望む声が増しに高まっており、当該機能の存続を本市は明確に示すべきであると思うが、見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(2) 新都心地域に図書館がないのはなぜか 当該地域において、子どもからお年寄りまで幅広く利用できる図書館設置の機運が大きく、財政難の中、新たな箱物を作るより銘苅庁舎を活用することが妥当であると考え、本市の見解を伺う</p>
		<p>3 土地区画整理事業について</p>	<p>未解決のままとなっている「宇栄原南土地区画整理事業」について引き続き取り上げる 生活主体である住民の意向を無視した、行政・関係機関のやりとりがなされているが、本市の見解を伺う</p> <p>(1) 先般、2月定例会で取り上げて以降からの過程において、問題解決に向け本市はどのような取り組みを行い、どのような状況になっているのか</p> <p>(2) 先月5月8日、「グリーン宇栄原自治会」の総会が行われ、当該地区に含まれる「我那覇後原地区」の那覇市編入を、参加自治会員、全員の賛同を経て、全会一致で決議を採択した 本市は、この住民意思をどう捉えているのか</p> <p>(3) 同様に5月15日、「宇栄原南土地区画整理事業組合」の臨時総会が開かれた 当局は、編入問題と切り離し、まず区画整理事業を先行終了させる方針を説明し、今総会をもって、合意形成を図ることができたとの認識を示した しかし、おかしなことに組合格約に定める採決など、総意を確認する手続きがなされなかったとのことである 本市は、この事実をどう捉えているのか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>